



# 小島児童クラブ

## 体験授業レポート

「はにわ作りに興味を示し、没頭している姿が嬉しく、火起こしの姿が逞しかった。」

昨年に引き続き、小島児童クラブが、夏休みの行事の一環で、小学1年生5人、2年生4人、4年生1人、5年生1人が参加し、展示室の見学、ミニはにわ作り、土器分類、火起こしの4つの体験を当センターで行いました。

### 展示室の見学

全員で展示室1～3と体験学習室、資料整理室を見学しました。何千年も前の物が展示されていることに驚きを隠せない様子でした。また、ちょうど上原遺跡の資料整理が行われていたため、特別に見学しました。



「本物の昔の物を見れてうれしかった。」



### ミニはにわ作り体験



はじめに、古墳時代の話聞いて、はにわの意味や古墳に置かれた理由などを理解しました。次に、粘土を取り出し、胴体を作り始めました。胴体の後は、手や鼻、帽子などの部品を作って、胴体に付けます。みんな楽しそうに作っていました。

「小さいキャラを作れてうれしかった。」・「自分なりのはにわを作れてうれしかった。」

### 土器の分類体験



土器の分類は、縄文土器・弥生土器・須恵器の3つの土器片を分けます。完形品の土器を触ったり、持ち上げたりして、縄文土器・弥生土器・須恵器の特徴を肌で感じ取っていましたが、小さい子には難しく、土器の違いがなかなか理解できないようでした。本物の土器にさわれた、貴重な体験が出来ました。

「いろいろあるなあと思って、むずかしかった。」  
「パーツがいろいろあって、むずかしかった。」



### 火起こし体験



火起こしを経験したことがない子どもたちでしたが、火が起きるまでの手順や理屈を教えると、友達と協力し合って弾み車を回し、火種を作ると「フーフータイム」も頑張り、火を起こすことができました。自分たちで火を起こした

「回るのがおもしろかった。」・「自分が出来てうれしかったけど、手伝ってあげて、みんなができて、うれしそうにできてよかった。」

ことにとっても感動していました。



### 支援員の感想

「現代社会を生きる今時の子どもでも、はにわ作りに興味を示し、没頭する姿が嬉しくもあり、新たな発見になりました。工夫してオリジナルはにわを大事に持って行く姿にも感動しました。火起こしは、途中で諦めてしまうかと思っていましたが諦められず、火がつくまで汗水垂らし頑張っている姿、協力して火を起こす姿が逞しく思えました。活動内容や日程、職員の対応など、どれもとても良かったです。」

